

# 夏合宿巡検記

## 部分分数分解

鉄道研究部では、毎年夏休みに夏合宿を行ないます。本年度は8月3日から8月6日まで、山陰地方にて実施しました。その記録をここにまとめさせていただきます。

### 8月3日（京都→京都鉄道博物館→園部→綾部→東舞鶴）

この日、私たちは朝の9時半に京都駅嵯峨野線ホームに集合しました。ちなみに筆者は前日から京都入りしました笑。まずは嵯峨野線で次駅の梅小路京都西駅に向かいます。ここは「京都鉄道博物館」の最寄り駅です。今は引退した「トワイライトエクスプレス」の車両や迫力ある多数の蒸気機関車、その他たくさんの展示に部員たちは大喜びです。再び嵯峨野線に乗ります。園部からは山陰本線、綾部から舞鶴線と乗り継ぎ、東舞鶴駅に到着です。ここで部員一同は各自で夕食を摂り、翌日に備えて英気を養うこととなります。



### 8月4日（東舞鶴→西舞鶴→天橋立→豊岡→城崎温泉→浜坂→鳥取）

翌日、東舞鶴駅から西舞鶴駅へと移動し、西舞鶴駅からは京都丹後鉄道を利用し、天橋立駅に向かいました。天橋立では自由行動です。各々が鉄道の写真撮影に赴いたり、浜辺に向かったり、山頂のテーマパークと天橋立の景色を楽しんだりと自由に過ごしました。しかし、この日は猛暑日で色々と歩き回るには適しておらず、冷房の効いた駅舎でダウンしていた部員もいるようです笑。

天橋立駅に再度集合し、「はしだて5号」で豊岡駅まで行きました。豊岡駅で「きのさき7号」に乗り換え、城崎温泉駅に到着です。ここから山陰本線で浜坂駅まで行き、列車を乗り換えて鳥取駅に到着しました。鳥取駅周辺は非常に落ち着いた雰囲気、東京では味わえない雰囲気が漂っていました。部員達は鳥取駅周辺で食事を摂り、宿で休息を取りま

す。



## 8月5日（鳥取→松江→松江しんじ湖温泉→雲州平田車両基地→電鉄出雲市）

この日はなんと寝坊した部員がいました!!!仕方ないので他の部員はそのまま鳥取駅に移動。寝坊した部員はなんとか追いつくことができたので良かったです。鳥取駅から山陰本線で松江駅に向かいます。ここで自由時間。部員達は松江駅周辺で昼食を摂ります。次に集合したのは一畑電車北松江線の松江しんじ湖温泉駅です。松江駅からはまあまあの距離があるので多くの部員はバス移動しましたが、筆者はバス代をケチって歩きました。乗車後、雲州平田駅に向かいます。そしてこの日最大のイベントこそが雲州平田車両基地の見学です!!!!雲州平田駅に隣接する一畑電車の車両基地で、車両の整備点検等の業務を担っています。鉄道研究部では、夏合宿時に車両基地見学を行なうのが恒例です。職員の方に様々な解説を頂きながら充実した見学を行なうことができました。イベント時にしか見れない車両の運転台に座らせてもらったり、分岐器切り替えの体験等非常に良い活動となりました。担当して頂いた職員の方々には感謝してもしきれません。車両基地見学を終えた一行は、再び雲州平田駅から乗車し、電鉄出雲市駅に向かいます。ここで部員達は夕食と宿泊です。ちなみに筆者は出雲そばを賞味しました。いよいよ翌日は合宿最終日です。

## 8月6日（電鉄出雲市→川跡→出雲大社前→出雲大社）

ついに合宿最終日となりました。各自で朝食を済ませ、ホテルロビーに集合します。この日は電鉄出雲市駅から一畑電車が出雲大社を目指します。川跡駅で乗り換えをします。そのまま電車で揺られていると、出雲大社前駅に到着です。ここで部員一同は、出雲大社へと徒歩で移動し、参拝をしました。この出雲大社で2019年度鉄道研究部夏合宿は解散となりました。

このあとの行動は部員によってそれぞれです。多くの部員は出雲大社周辺で食事を摂り、出雲市駅発の「サンライズ出雲号」に乗車して帰途につきました。中には松江駅まで出て松江城を見学し、松江からサンライズ出雲号に乗車する部員、特急やくも号を利用して帰途につく部員等様々です。ちなみに我らが主将は、引率の部長の先生と共に飛行機で帰宅

していましたね笑。

ここからは筆者の話をしていこうと思います。私は出雲大社を参拝したのちに、御朱印を頂いて附属の資料館に向かいました。そこでは出雲大社建立の歴史やオオクニヌシノミコト、その他様々な神様に関する逸話、貴重な神器等が展示されていました。

昼食は前日と同じく出雲そば、それと屋台で販売されていた岩魚の塩焼きを食べました。その後一畑電車で電鉄出雲市駅まで戻り、ホテルに預けていた荷物を受け取り、近くにあった「釜揚げうどん」で早めの夕食を摂りました。この日は夜行バスで東京に帰る予定だったのですが、そうすると風呂に入れません。そのため出雲市駅前の銭湯で風呂に入り、その後は汗をかかないように休憩所でバスの出発時間を待ちました。

夜行バスは20：00発で翌朝の8：00頃の到着予定でした。意外と快適に寝て過ごすことができ、無事に東京駅に到着しました。その後は中央線、京王線と乗り継いで、帰宅することができました。これが筆者の出雲大社解散後の行程です。

鉄道旅行の醍醐味は何も鉄道そのものばかりではありません。鉄道に乗って、その目的地での観光を通じて様々なものに触れることができます。美味しい食べ物を食べたり、車窓を楽しんだり、歴史や文化に触れることができるのです。特に鉄道は移動時間が長いので、ゆっくりと駅弁を楽しんだり景色をみたり。それらには筆舌に尽くしがたい喜びがあります。

最後まで読んで頂き、ありがとうございました。鉄道旅行の醍醐味が少しでも読者の皆様に伝わったならば幸いです。



## 参考文献

参考文献はありません。また、写真は全て筆者が撮影したものであります。